

令和元年度 森林環境譲与税の使途状況

岡谷市

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		(A) + (B)	(A) うち令和元 年度の森林 環境譲与税 （千円）	(B) うち他の財 源 （千円）			
森林保護対策	松くい虫防除対策事業	1,289	1,062	227	松くい虫による被害の拡大防止を図るための、松林監視員による枯損木等の早期発見のための巡視及び被害木等の伐倒・駆除等。	・監視日数76日 ・枯損木発見32本 ・伐倒処理10本 ・くん蒸処理3本	【ワンフリーズ】 本年度は、平成30年度に市内で初めて松くい虫による被害の発生が確認されたことから、松林監視を2名から4名に増員し体制を強化するとともに、早期発見、早期駆除の防除対策事業に取り組んだ。 スマートフォンから投稿できる、松枯れ情報投稿アプリによる市民からの枯損木等の情報収集を実施した。 また、今後森林整備を進めるため、林地台帳の地番図データ整備、風倒木処理を実施し、税の活用による森林整備に向けた対策が図られた。
その他 （森林整備）	林地台帳地番図データ作成業務	4,842	4,842	0	森林整備のための林地台帳の地番図データを整備。	全体のうち約50%整備	【詳細】 現在、本市では、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、それぞれの機能に応じた適正な植栽や保育、間伐等の施業の実施により、健全な森林整備が促進されるよう事業を進めている。 松くい虫防除対策事業については、健全な森林保全から、被害拡大を防ぐためにも、引き続き早期発見、早期駆除を実施するとともに、樹種転換の検討など行っていく。
森林保護対策	倒木伐採処理業務	1,067	424	643	森林の保全及び二次災害を未然に防止するため、道路沿線の森林に係る支障木や風倒木の伐採。	倒木等処理8本	林地台帳地番図データ整備については2カ年の予定で来年度も実施予定である。 今後、森林経営管理制度による森林整備を進めるため、地域振興局管内の市町村において共同研修及びモデル事業の実施により準備に取り組んでいる。
合計		7,198	6,328	870			